

読書のまち・かわさき通信No.74



川崎市教育委員会 2016.12.5発行

第14回 かわさき読書の日のつどい

かわさき読書週間

10月30日～11月12日

場所 中原市民館 多目的ホール

毎年、10月末から11月はじめの2週間を「かわさき読書週間」と位置づけています。期間中の11月の第1日曜日には、「かわさき読書の日のつどい」を開催しており、今年は11月6日（日）に中原市民館で行いました。

「かわさき読書の日のつどい」では、市内の児童生徒から寄せられた読書活動に関する「読書標語」「読書ポスター」「本の紹介文」などの優秀作品、及び読書活動作品づくりに意欲的に取り組んだ学校に贈る学校賞の表彰を行いました。また、長年にわたり図書館・学校・地域で子どもの読書を推進する活動に取り組んできた6つの優秀団体を表彰しました。

今回団体表彰を受けた団体は…

☆日吉小学校 図書ボランティア

☆向丘小学校 図書ボランティア

☆子母口小学校

☆子母口小学校

図書整理及び読み聞かせボランティア

☆東橋中学校

☆ゆりかご

の6団体です。



講演会

では、多くの作品を出版され、小学校の教科書においても作品が掲載されている椎名誠先生をお迎えして、『本のか 本の夢』というテーマでご講演いただきました。これまで多くの世界の国々へ行かれている椎名先生の体験をもとにされたお話に、会場全体が引き込まれました。

また、児童・生徒と椎名先生との交流会では、3名の小学生や中学生が椎名先生の本を読んだ感想を発表しました。その内容に椎名先生から「すばらしい」とのお言葉をいただくとともに、それぞれの本の内容に関する裏話もしていただき、本を書くこと、読むことの奥の深さを、あらためて感じる事ができました。



★ “来場者の感想より” ★

- 貴重な話を聴けて、有意義な一日でした。また、子供たちの感想文も新鮮でした。
- このような“つどい”があるのをはじめて知りました。読書離れが寂しいこの頃ですが、1冊の本による影響は大きいものがあります。益々のご啓発を祈ります。
- 椎名誠さんの本は小学生の頃から親しんで読んでいましたので、このような講演会で直接お話を伺うことができとてもうれしかったです。小学生から高校生まで、たくさんの受賞された方たちの作品も興味深く拝見しました。このような機会に参加でき、ありがとうございました。

川崎フロンターレと本を読もう！

キックオフ！「読書のまち かわさき」

「読書のまち・かわさき」事業の一つとして、今年度も川崎フロンターレと協働し、読書推奨キャンペーン事業「川崎フロンターレと本を読もう！」を実施しています。例年行われている「人形劇団ひとみ座&川崎フロンターレによる人形劇とサッカー選手等による読み聞かせ」を市立図書館と小学校で行いました。

小学校では、元川崎フロンターレの選手で、現在はU-18のチームで指導をされているコーチが来校し、ひとみ座が演じる「ふるん太」くんや、「ワルンタ」くんと共に、本への関心を高める劇を演じました。

また、大きな絵本をひざに置き、子どもたちのために読み聞かせも行いました。

読み聞かせ後は、子どもたちからたくさんの読書やサッカーに関する質問が飛び出しましたが、コーチは丁寧に答えてくださり、最後は全員ハイタッチで退場しました。

どの子も笑顔で楽しそうに劇を見たり、お話を聞いたりしていました。

こうした取り組みを通して、今後も読書好きの子どもが増えることを願っています。



平成28年度 第2回 全市図書ボランティア研修会のご案内

この研修会は、学校図書ボランティアの方が対象ですが、読書に興味・関心のある市民の方々の参加、学校図書ボランティアに関心のある方の参加も大歓迎です。

今回は、昨年度に引き続いて、城内三枝子先生をお迎えしてご講演いただきます。城内先生は、小学校教諭を経て、江東区にある「おはなしかご」(ストーリーテラーズスクール)にて児童文化を学ばれ、おはなし会(おはなし・絵本・パネルシアター・紙芝居など)や講座などでご活躍されています。皆様お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

- ◆ 日時： 2017年1月17日(火) 9:50~11:20〔受付開始 9:30~〕
- ◆ 会場： 中原市民館 多目的ホール〔パークシティ武蔵小杉 ミッドスカイトワー2F〕
- ◆ 講師： 城内 三枝子 氏
- ◆ 演題テーマ：「心に届くおはなし」～手遊びやパネルシアターなどを通して～ パート2
- ☆ 一般の方は申込不要・参加自由ですが、学校関係の方は学校を通してお申し込みください。

〔問い合わせ〕川崎市教育委員会事務局「読書のまち・かわさき」事業担当

電話200-3243